

平成27年

第1回仙北市議会定例会

市 政 報 告

仙 北 市

平成27年第1回仙北市議会定例会 市政報告

平成27年第1回仙北市議会定例会の開会にあたり、前回定例会後の主要事項並びに平成27年度の市政運営の基本方針等について申し上げます。

はじめに一般会計補正予算(11号)についてです。

補正額は4億3,759万7千円の減額で、補正後の額は188億8,978万1千円となります。補正予算の大部分が事業精算見込みによる補正です。2月3日、国の補正予算で追加された地域住民生活等緊急支援交付金事業は、地域消費喚起・生活支援型で3事業7,771万5千円、地域創生先行型で10事業5,417万3千円を計上しました。この交付金事業は全事業が繰越明許となるほか、公共施設再生可能エネルギー等導入事業費、大曲仙北広域市町村圏組合斎場負担金、企業誘致対策事業費、岩瀬北野線整備事業費、災害復旧事業費などを繰越明許とさせていただきたいと思えます。

今回の補正では、財政調整基金繰入金の繰り戻しとして、1億7,600万円を計上しました。これにより平成26年度における財政調整基金からの繰入金は6億6,400万円となる見込みです。

なお除雪経費については、昨年や一昨年程度ではないにしても予算不足が見込まれる場合は、併せて追加補正をお願いしたいと考えています。

次に、各部局等の主要事項並びに諸般の状況を申し上げます。

【総務部】

◇地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金について

平成26年度補正予算に提案している本交付金事業は、繰越明許により平成27年度事業として実施する予定です。

「地域消費喚起・生活支援型交付金事業」では、市内経済の活性化

のため、大きな呼び水となるプレミアム付商品券の発行や、利用者拡大を目的に「秋田内陸線乗車促進事業」、「こころもあつたか温泉入浴促進事業」に取り組みます。

「地方創生先行型交付金事業」については、重要かつ継続的に行う必要がある定住・移住に関連する施策を重点的に実施することとしました。結婚支援事業として、民間大手結婚支援企業と連携した「ときめき恋・来い交流事業」、また、秋田県が事業主体の定住対策「あきた結婚支援センター登録促進事業」、結婚後支援事業としては「定住対策新婚世帯家賃助成事業」を実施します。さらに子育て環境の整備では「保育園遊具整備事業」を実施します。

雇用促進と定住対策のメニューでは、観光や商工業の環境改善、就農支援として、「無料公衆無線LAN設置事業」、「空き店舗調査・チャレンジショップ事業」、「中小企業活性化支援事業」、「育てよう起業家支援事業」、「農林業で田舎暮らし体験事業」を実施します。このほか、「地方版総合戦略」の策定経費にも交付金を充当することとしています。

また、平成28年度からは、地方創生先行型交付金と同様の交付金が新たに創設される予定であり、地方版総合戦略に盛り込む様々な事業の財源とします。

◇所得税の不正還付等に係る損害賠償請求訴訟について

平成25年7月4日に原告3人から提訴され、平成26年11月21日に判決が言い渡された所得税の不正還付に係る損害賠償請求訴訟について、12月4日に原告側から判決に不服として仙台高等裁判所秋田支部に控訴状が提出されていましたが、1月23日に控訴取下書が提出され、これにより「原告らの請求をいずれも棄却する」という一審の判決が確定しました。

◇株式会社アロマ田沢湖の取締役改選について

第三セクター株式会社アロマ田沢湖について、これまで歴代の首長が代表取締役を務めてきましたが、2月3日に開催された取締役会にお

いて、このたびの決算報告をもって代表取締役を退任したい旨の報告をしています。

明日25日に定時株主総会が開催されますので、この株主総会で私の退任と後任の取締役として倉橋典夫副市長の選任をお願いする議案を提出する予定です。

株主総会で了解が得られれば、その後取締役会を開催し、新しい代表取締役の選任をお諮りすることになります。

◇市所有建物からの落雪事故について

1月6日午後4時30分頃、西長野交流センター体育館入り口屋根付近から落雪事故が発生し、下に駐車していた車1台のボンネットを損傷しました。

1月14日午後0時25分頃、角館庁舎南側屋上から落雪事故が発生し、下に駐車していた車3台の屋根、ボンネットを損傷しました。

どちらの事故も発生時に人影はなく、人身事故には至りませんでした。その後、被害を受けた方々と丁寧に話し合いを重ねています。

また、2月17日午後1時46分頃、角館西側庁舎3階屋根からの落雪により、角館庁舎と西側庁舎をつなぐ渡り廊下屋根の破損事故が発生しました。建物物損だけで人身事故は無く、応急措置を指示しました。

建物管理については、積雪時より注意喚起のポスター設置並びにつららや雪庇の除去はしてきましたが、一層の早期対応と現場見回りを強化し、再発防止に努めます。

◇デマンドタクシーの事故について

2月2日午前8時25分頃、国道105号の城廻交差点から仙北東森林組合方向に走行していた西木北部(桧木内・上桧木内地区)のデマンド型乗合タクシーと対向車による人身事故が発生しました。

事故当時は路面が凍結していて、タクシーがスリップして対向車線に進入し、対向車(軽乗用車)の正面にタクシーの左後方側面が衝突したものです。

タクシーには3人の乗客がいましたが、そのうち1人があごを骨折、もう1人が左肩を骨折し、あごを骨折した方は現在も入院中です。また、対向車の運転者は肋骨にひびが入り通院加療を続けていると伺っています。監督指導をすべき立場として、被害に遭われた方々にあらためてお詫びとお見舞いを申し上げます。

今後引き続き、市民バスを含む各運行事業者に対して、安全運行の励行と注意喚起を促していきます。

◇仙北市雪害警戒部の設置について

大雪による雪害警戒と災害情報収集等のため、12月26日午後3時30分、総合防災課内に「仙北市雪害警戒部」(部長は危機管理監)を設置しました。雪害に関する情報収集や屋根の雪下ろし等の注意を喚起し、必要に応じて防災行政無線や安全・安心メールの配信も行っています。今後も気象情報等を注視し、市民の安全確保に努めます。

◇仙北市消防出初め式について

去る1月6日、仙北市消防出初め式を開催しました。消防団員440人が参加し、西木温泉クリオンから西明寺小学校まで分列行進を行いました。あいにくの小雨模様でしたが、沿道の市民や保育園の子ども達から声援をいただくことができました。その後は市民会館で式典を行い、勤続40年以上の永年勤続章や功労章など多数の団員を表彰したほか、消防功労者及び火災予防活動協力者への感謝状を贈呈しました。

◇雪下ろし作業事故について

1月14日午前9時頃、西木町上桧木内地区で、はしごを使い自宅軒先の除雪をしようとした方が、はしごが滑り高さ1.5mから地面に落下する事故が発生しています。

1月16日午前9時30分頃、田沢湖生保内地区の除雪作業を依頼された方が、雪下ろし準備作業中に屋根からの落雪により腰部及び足首を負傷する事故が発生しています。

1月23日、角館町下岩瀬地内で、自宅の雪下ろし作業中に雪と一緒に約4mの高さから落下し、両足首を骨折する事故が発生しています。

2月1日午前9時頃、角館町西田地内で、自宅の塀の除雪中、約1mの高さから落下し負傷する事故が発生しています。

2月12日午後4時頃、西木町桧木内地区で、70歳代女性が自宅前の除雪作業をしようと玄関から屋外に出たところ、屋根の雪が顔面を直撃し軽傷を負っています。

また、2月14日午前7時25分頃、角館町水ノ目沢地区で、木造一部2階建ての店舗が、屋根に積もった雪の重みで半壊する事故が発生しています。けが人はありませんでした。

雪下ろし作業事故防止については、防災行政無線及び安全・安心メールを配信、また、1月22日に雪下ろし講習会を実施しています。今後も引き続き、建物等の管理も含め事故防止のため注意喚起を行います。

◇火災の発生について

1月25日午前8時45分頃、角館町山谷川崎地内で火災が発生し、住家併用農作業場(木造一部二階建て約187㎡)を全焼しました。この火災による負傷者はいません。しかし、隣接する住家の窓ガラスが熱により破損するなど、外壁と窓に部分焼の被害がありました。

市民の皆様には、火の取り扱いにはより一層注意していただくよう火災予防を呼びかけます。

【福祉保健部】

◇保育園でのノロウイルス感染について

神代保育園で3人の乳幼児がノロウイルスに感染しました。保育園では施設内の消毒や子どもの手洗いなどを徹底し、感染の拡大防止に努めています。

ノロウイルスは冬場に多い感染症です。各保育園の保護者には緊急連絡メール等で予防や対応について注意喚起を行っています。今後も各保育園のノロウイルスの感染予防対策に万全を期します。

【観光商工部】

◇旧角館プラザホテル跡地の再開発について

現在事業が進行している角館町家プロジェクト(物販施設・銀行・宿泊施設・6次化拠点施設)の進捗状況ですが、1月23日に物販施設のコンビニエンスストアが営業を開始しています。

建設中の6次化拠点施設については、4月上旬のプレオープンを経て4月中旬のオープンに向けた準備が進められています。新たな雇用は22人程度と伺っています。また、銀行施設の営業開始時期は7月となる見込です。今後も可能な限りの支援を行いたいと考えています。

◇大規模小売店舗立地法に基づく届出について

1月21日、大規模小売店舗立地法に基づく店舗新設の届出があり、現在中町庁舎で届出文書の縦覧を行っています。縦覧期間は5月21日までです。

新たな店舗の設置者は、湯沢市の有限会社中央市場です。店舗名称はビッグフレック角館店、所在地は角館町上菅沢360番地7ほかで、駅前の空き工場を活用した店舗となります。店舗面積は2,455㎡、新設予定日は9月21日です。なお、2月26日の午後6時から、仙北市勤労青少年ホーム(外ノ山19番地)で出店計画の地元説明会が開催される予定です。新規雇用者は20人から30人と伺っています。

◇雇用状況について

ハローワーク角館管内での12月末現在有効求人倍率は0.86倍で、前年同期の0.69倍と比べ0.17ポイント増加しました。しかし、0.86倍という倍率は11ハローワーク中9番目で、まだまだ管内の雇用環境は厳しい現状と受け止めています。

平成27年3月卒業予定の高校生に対する市内事業所求人受理状況は、1月末現在で38事業所(124人)です。昨年3月の卒業生に対する最終求人数29事業所(89人)を上回っています。これは積極的な新規採用を検討している事業所が増え、これまでの足踏み状態から脱却の

兆しと捉えています。大曲仙北地域の高校生県内就職内定者状況は、就職希望者233人に対し224人の96.1%となっています。

今後も関係機関と連携しながら、雇用関連施策の充実を図ります。

【農林部】

◇農業所得確保対策について

平成26年産米の概算支払金が大幅に下落したことから、市議会のご理解をいただき、様々な緊急の農家支援対策を行ってきました。

稲作経営安定緊急対策資金保証料助成(市単独)事業は、県の預託金を原資に、金融機関の貸付事業への保証料を助成する事業です。2月16日現在、JA他金融機関での貸付件数は202件、金額で約2億866万円となっています。今年度末見込みでは230件、貸付額も2億1,400万円となり、件数で60件、貸付額で8,400万円が見込みより増加することから、保証料の補正を計上しています。

また、平成26年産米価下落緊急支援事業は、市単独事業として60kgあたり200円を上乗せする緊急農家支援対策です。第1弾の「あきたこまち(11月末までの出荷分)」については、申請のあった1,189件(35,648,000円)を12月中に仙北市地域農業再生協議会を介して支払い済みです。その他の品種(12月以降の出荷含み)については、3月10日までに生産者から申請を受け、3月末までに支払う予定です。第2弾の「来年度産米の水稻種子の購入助成事業」は、必要種子量がまとまり次第、JA等の米穀取扱団体を介して生産者へ支払う見込みです。

国は年明け、27年産米の生産コスト低減の取り組みを支援し、稲作農家の体質強化を図る目的で、200億円規模の「稲作農業の体質強化緊急対策事業」を創設しました。これに対応し、すみやかに全農家へ個別郵送で情報を周知しました。

1月23日から27日の5日間、地域ごとに受付会を実施したところ、1月30日締め切りまでの事業該当申請件数は211件、交付見込額2,243万5千円で、県農業再生協議会の審査の後、仙北市地域農業再生協議会を經由して本年度末に各経営体へ送金される見込みです。

その後、国では2月27日までの追加募集をしたことから、希望者には対応していきます。

農業経営緊急フォローアップ事業は、2月4日から5日のJAおぼこ「仙北市エリア作物栽培講習会」と同時開催で、飼料用米の拡大PR、認定農業者への誘導説明を行い、国のナラシ対策加入要件取得への対応等周知を行っています。

◇仙北市農林水産ビジョンの策定について

仙北市農業振興の実施計画とも言える農林水産ビジョンを策定し、先般開催された地域農業再生協議会で了承いただきました。今後はこのビジョンを基軸に地域農業の振興を図ります。議会の皆様からも特段のご指導をお願いします。

◇秋田スギバイオエネルギーセンターについて

秋田スギバイオエネルギーセンターについては、事業廃止に向けて、国・県等の関係機関と協議を重ねてきましたが、2月16日付で農林水産大臣から知事宛てに、災害報告書を受理するとの通知があり、これにより補助金については返還が免除となりました。また、起債については、繰り上げ償還により一括返済することになりました。なお、火災保険金は、1月22日に県町村会から2億9,501万6千円の入金となっています。補正予算に解体費を含めた所要の予算を計上しています。また、施設の廃止条例案も併せて上程しています。よろしくご審議をお願いします。

【建設部】

◇市道除雪の状況について

今期は例年より早い降雪となりました。12月の1ヶ月間に係る気象庁アメダスデータでは、昨年と比較して降雪日数が24日で1.5倍、累積降雪量が281cmで約2倍、最深積雪値が104cmで2.3倍という状況です。

除雪車の平均出動日数は1月14日現在21日で、昨年の1.6倍です。

冬期交通対策費も委託料を含めて不足が見込まれたことから、2月3日に予算の追加を専決処分しました。なお、今後の降雪の状況によっては、さらに追加の補正予算も検討しなければならないと考えています。

◇景観シンポジウム開催について

1月17日、「未来に残したい仙北の景観～みんなで守り・育てる景観～」をテーマに、「仙北市景観シンポジウム」を開催しました。

弘前大学の北原教授による基調講演のほか、景観計画策定委員やかくのだて歴史案内人、花のある街づくりコンクール審査員の3人の方々に登壇いただいた活動報告とパネルディスカッション、また、このシンポジウムにあわせて、「花のある街づくりコンクール」の表彰式、受賞写真の展示、市で策定中の景観計画素案の紹介も行いました。

当日は150人を超す市民の皆様にご来場いただき、仙北市の景観の魅力と、これからの景観づくりや景観育てについて一緒に考えていただきました。

市では平成27年度中に景観条例を制定し、景観計画に基づく届出を開始したいと考えています。景観計画策定については、2月5日に市議会産業建設常任委員会協議会で策定案を報告し、また2月9日、10日、12日に田沢湖・角館・西木の3地区で説明会を開催しました。パブリックコメントについては2月9日から昨日までの期間で実施しています。広く市民の意見を取り入れた計画を策定したいと思います。

◇JR田沢湖駅へのエスカレーター設置について

2月20日、JR東日本秋田支社では、主要観光駅のJR田沢湖駅にエスカレーターを設置することを発表しました。事業概要は、1番線ホームに2基(上り・下り1基)、2・3番線ホームに2基(上り・下り各1基)を設置し、併せてエスカレーター専用こ線橋を整備するものです。平成27年度末の完成を予定しています。

なお、JR角館駅については、現在進められている東西自由通路の整

備検討の中で協議していくことにしています。

【企業局】

◇温泉事業について

カラ吹2号源泉は、2号井の老朽化による減退で温泉供給が不安定な現状です。お客様に不便があってはならないと、緊急避難的対策で加温用蒸気ボイラーを2機増強しましたが、これに伴う燃料費の増額が見込まれたことから補正予算を計上しています。

【医療局】

◇仙北市病院事業の管理者について

病院事業の管理者として、平成23年4月1日に宮川信医師に着任いただきました。現在まで精力的に市立角館総合病院の移転改築や、医師確保対策等で活躍をいただいています。今年度末で任期が満了となりますが、引き続き仙北市が抱える医療事業の課題解決に向け取り組んでいただくよう要請しています。

◇市立角館総合病院改築事業について

市立角館総合病院改築事業の本体工事については、平成27年1月29日に入札を執行し、2月12日付けで安藤ハザマ・丸茂組・小松建設特定建設工事共同企業体と、69億6,600万円で契約締結をしています。今後は早期完成を目指し事業を推進します。

また、病院経営については、地域における医療ニーズへの対応、収益性・事業性の確保、医療サービスの質の向上、接遇向上を目指し、市民の皆様信頼される病院づくりに向け今後も努力を傾注します。

なお、本定例会には、本年度精算見込みに伴う「平成26年度病院事業会計補正予算」と「平成27年度病院事業会計予算」を上程しています。

次に、市政運営の基本方針並びに主要な施策について申し上げます。